



10月下旬に北潟湖の汽水域で、数匹を採集した。生息数は多くない。全長：約22mmの若魚

ハゼ科 ヒナハゼ属

【全長】4cm前後

ヒナハゼ

学名：*Redigobius bikolanus*

分布域

神奈川～島根県以南の本州と四国
九州・沖縄諸島に分布とされる。
※ 国外ではインド洋～太平洋と広い。

生息域

河口部～河川の下流域に生息する。

第1背鰭が特徴的。全長：約13mmの幼魚



小型種で体形は太短くずんぐりする。鱗はやや大きい。体色は淡褐色で体側に暗色斑がある。第1背鰭に独特な黒色模様がある。成熟するとオスは口が大きくなり、第1背鰭の軟条が糸状に伸長する。生息環境は汽水域。泥～砂泥底部の落葉溜りや抽水植物などに潜む。成熟すると淡水域にまで侵入する。繁殖期は夏。河口部の貝殻や石の下面などに産卵する。孵化後に海に下り、全長1cm前後で汽水域に遡上する。

福井県は分布域外だが、体長1～2cmの幼魚を9～10月頃に汽水域で確認している(成魚は未確認)。県内にも遡上しているのは間違いない。越冬出来るかは調査が必要。水槽での飼育は比較的容易。

在来種？

迷入？

回遊魚

※ 本種の様な南方系両側回遊魚の幼魚が福井県内でも比較的容易に視られるようになった。温暖化によって分布を拡大しているものと思われる。越冬すると定着する。今後も追跡調査を継続していきたい。